

第2回新潟駅南口広場再編検討委員会 会議録

日時：令和6年3月12日15時～16時15分

場所：新潟市立中央図書館 3階多目的ホール

■発言者：役職・敬称略

- ①事務局（新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所） ②長岡技術科学大学 佐野【委員長】
③(有)ミカユニバーサルデザインオフィス 中村【委員】
④東日本旅客鉄道株式会社 吉田【委員】 ⑤公益社団法人新潟県バス協会 橋本【委員】
⑥一般社団法人新潟県ハイヤータクシー協会 佐々木【委員】
⑦新潟交通株式会社 渡辺【委員】 ⑧南口臨時バスターミナル使用者 桃沢【委員】
⑨近隣大規模土地所有者 木山【委員】 ⑩近隣大規模土地所有者 前田【委員】
⑪国交省北陸信越運輸局 伊藤【委員】 ⑫国交省新潟国道事務所 松平【委員】
⑬新潟県警察本部 齋藤【委員】 ⑭新潟市都市政策部 武石【委員】

<議事要旨・主な意見>

1. 開会

2. 議事

(1) 第1回新潟駅南口広場再編検討委員会の振り返り

- ・資料1、P4のNo.6について、ハード対策をやってからソフト対策を検討するような表現に見えるが、ハード、ソフトは同時に計画することが大事である。【②】
- ・資料1、P7「⑥その他の課題に関するご指摘の対応の考え方」のNo.1、No.2について、立案すると記載があるが、これは実現に向けて取り組むという理解で良いか。【⑩】
- ・整備の必要性を含め検討していく主旨である。【①】
- ・資料1、P4のNo.1について、タクシー乗り場として将来の必要なスペースおよび福祉、身障者、観光関連車両について踏まえながら検討してほしい。【⑥】

(2) 整備コンセプトについて

- ・整備コンセプト（案）は、万代広場側との違いが出ると尚良いのではないか。【②】
- ・「①交通ターミナルとしての機能強化」とあるが、具体的に何を指しているのか確認したい。仮称バスタ新潟や新潟駅バスターミナル以外の機能は何か想定しているか。【⑦】
- ・新たなモビリティやMaaSといった考え方もあり、これらも含めて検討していく考えである。【①】
- ・交通モード間のアクセス性向上が課題であり、如何にシームレスに移動できるかも機能強化として重要な視点である。【⑦】
- ・ウォークアブルな空間、歩くことが楽しくなるような移動空間になることを望んでいる。例えば空港の搭乗口に向かうようなイメージで仮称バスタ新潟に向かえるとよい。ドラマがあるような移動があれば新潟も変わるのではないか。リアルタイムな情報提供も非常に重要と考える。西側連絡通路は、現状の利用実態を調査しておくべきである。過去に、親子連れが床に座って物を食べている風景を見たことがあり、このような事が無いようにしたい。【③】
- ・西側連絡通路については、仮称バスタ新潟と併せて考えていきたい。現状ではベンチは設置されておらず、コンビニやホテルはあるが例えば災害時の対応や、情報発信等もあれば良いと考える。【①】

- ・インバウンド対応として、訪日外国人等への情報発信も大事な視点である。【②】
- ・上位計画の中で、「スマートエネルギーの推進による次世代型の環境都市」とあるが、次世代型の環境都市を形成する建物に求められるものとは何なのか、具体的な事例があれば教えて頂きたい。【⑨】
- ・再開発にあたっては ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の考え方があり、太陽光を使った省エネや EV 設備を設けているか等の基準が参考になると考えられる。【①】
- ・上位計画は令和 3 年策定のものもあり、必要に応じて時代に則した文言の変更なども考えて行く必要があると思う。【⑨】
- ・社会情勢の変化や技術的な進歩もあり、上位計画に記載されている内容は尊重しつつも必ず実施するというのではない。先進的なものを導入することも視野に入れて考えていきたい。【①】
- ・仮称バスタ新潟を整備するにあたっての基準等はあるか。【⑨】
- ・例えば通路の幅やエレベーターの大きさなど、バリアフリーやユニバーサルデザインに関する基準は、最大限配慮が必要である。【⑫】
- ・(仮称バスタ新潟に関して) 事業者がやりたいことに対しての国の環境配慮等ガイドラインはあるか。【⑨】
- ・(前述の) エネルギーに対しては具体的なものは無いと思われる。【⑫】
- ・国としての基準はないかもしれないが、仮称バスタ新潟整備の際の条件として、コンセプトに合致するもの等、仕様書等に盛り込むという考えもある。【②】
- ・「②人を中心とした動線の確保」の 1 項目「安全で快適に楽しく移動できる環境づくり」のキーワードに、「誰もが」という表現を付け加えることに対して、バリアフリーの視点からご意見を伺いたい。【⑭】
- ・「誰もが」という表現はあったほうが良い。佐渡(新潟県)の世界遺産の話もあるため、インバウンドへの対応という観点もある。ユニバーサルデザインは定着しているが、実際行っていくものはバリアフリー的なことだと思っている。【③】
- ・「①交通ターミナルとしての機能強化」について、案内サイン等も今後検討していくことになると思うが、南口だけで考えると全体として整理できなくなることを懸念している。コンセプトは、(万代広場側は既に整備が進捗している) 万代広場整備後の新たな整備の視点として南口広場の方向性を考えるほうが良いのではないかと。東側が路線バス、真ん中が駅(鉄道)、西側が仮称バスタ新潟となるため、これらの位置関係も踏まえて全体の機能を強化、コンセプトを決められれば良いと思う。【⑫】
- ・仮称バスタ新潟については別途検討会があるため、今回の提示された整備コンセプトを踏まえて仮称バスタ新潟の計画にも反映していきたい。【⑫】

(3) 調査企画について

- ・例えば駐輪場の利用状況を確認するだけでなく、駐輪場を利用した後にどこに行くかや、レンタサイクルはどのくらいの額であれば使うか等、市が進めたい施策に関するニーズを問うようなことも有効である。ニーズは自由記述で問う方法もあるが、ある程度焦点を絞って調査することも重要。【②】
- ・駐車場の調査にあたっては、身障者用の駐車場の実態も調査すべきと考える。現状、予約制になっているわけでない。市民のニーズは Web だけでなく、対面での聞き取りも有効。他の方がどのようなことを考えているかを理解し、自分事として捉えてもらうことも大事。【③】
- ・Web での調査は一見効率的に見えるが、若者が多いなどバイアスがかかりやすいため、対面で聞き取ることも大事だと考える。【②】

- ・駅に来るまでの移動手段については、調査結果などあるか。【⑨】
- ・(他部署で) パーソントリップ調査を実施しており、電車に乗るまでの移動手段等を確認することは可能。【①】
- ・CoCoLo 新潟が4月に開業するため、これまでとは駅の利用目的が変わってくる可能性がある。問い方によって取得できる情報が変わる可能性もあるが、駅の利用目的についても基礎的な情報として必要となるのではないか。移動手段等、分類別に情報を取得できると基礎データとして有効。【⑨】

(4) 今後のスケジュールについて

- ・基本方針の策定は令和6年度中か、それ以降か確認したい。【⑪】
- ・令和6年度以降という認識。【①】
- ・にいがた2kmということで駅から古町に人の流れをつくろうとしているが、駅に商業の「核」ができると、人の流れが駅に集中し逆行するのではないかと懸念している。現状から将来に渡り人の流れを調査していき、商業都市の核が一つなのか二つ必要なのか、その辺りも考えていってほしい。【⑥】
- ・本日は南口広場の再編に関する議論だが、前述のご意見は市全体の課題として、他部署も踏まえて検討していきたい。【①】
- ・歩行者動線の実態調査ということだが、従来だと時間帯ごとに何人通ったかを調査することになると思うが、通行の目的も必要ではないか。ビッグデータ活用という話もあったため、従来の手法に縛られず調査したほうがよいと思われる。【⑦】
- ・ニーズ調査に加え、駅に訪れた人がどこからどうやって来たか等も含めて企画を考えていきたい。【①】

(5) 全体を通じての意見交換

- ・スケジュールについて、今後何回か委員会を通じて整備方針などが決定されるのか。【⑨】
- ・委員の皆様にご意見を聞きながら、丁寧にやっていきたいと考えている。【①】
- ・西側連絡通路を包含する形で仮称バスタ新潟を考えて行くところがあるが、連絡通路の1階や3階にあたる空間も仮称バスタ新潟の一体施設として考えるという意図か。【④】
- ・市として西側連絡通路の在り方は、仮称バスタ新潟の上部や下部の利用も含めて、今後も検討が必要。ただし、西側連絡通路を単独ではなく仮称バスタ新潟と併せて、ということがより良い方法ではないかと考えている。別途仮称バスタ新潟の検討会もあるため、具体的な内容はそこでも議論していくことになる。【①】
- ・一般バス乗降場については、仮称バスタ新潟ができれば機能移転が図られ、現有課題は解決すると考えてよいか。【⑤】
- ・仮称バスタ新潟に機能移転するかどうかは決まっておらず、これから具体化するものである。【①】

3. 閉会

以 上